

第19代宜野湾市長 就任のごあいさつ

9月11日(日)に執行された宜野湾市長選挙で再当選し、第19代宜野湾市長に就任した、松川正則市長の2期目の市政がスタートしました。



▲9月30日(金)市長就任式



▲9月14日(水)当選証書授与式

人がつながる

未来へつなげる

ねたてのまち宜野湾

ごあいさつ

令和4年9月11日に執行された市長選挙において、市民の皆さまのご信任を頂き、第19代宜野湾市長として、引き続き、市政を担うこととなりました松川正則でございます。

こうしてご挨拶できることを、大変光栄に感じております。同時に、課せられた使命と責任の重さを実感し、身の引き締まる思いです。1期目の4年間は、佐喜真前市政で芽を出した事業等を継承するとともに、新たな事業に取り組み、進展を続けてまいることができました。

これもひとえに市議会をはじめ、職員、そして市民の皆さまの力強いご支援があったからこそでありまして、ここに改めて感謝申し上げる次第であります。

今回の当選を受けまして、2期目がスタートいたしますが、これまでの経験、実績を活かし、市民一人ひとりが幸せを感じ、宜野湾市に住んでよかった、「やっぱ、宜野湾がいちばん」と実感していただけるよう、必要な諸施策に取り組んでいく決意でございます。

さて、市政運営にあたっては、市民の暮らしや生活の安定・向上が何よりも大切な事であると考へ、常に市民の皆さまの声に耳を傾け、市民目線で、これまで取り組んできた政策、事業をしっかり推進するとともに、「暮らしがいちばん力強い宜野湾の経済政策の実現」をはじめとし、「健康がいちばん市民の健康を大切にするまちづくり」、「地域力がいちばん市民が主役、市民参加のまちづくり」、「基地のない平和がいちばん基

暮らしがいちばん

健康がいちばん

地域力がいちばん

基地のない平和がいちばん

夢のある明日がいちばん

第19代宜野湾市長

松川正則

地のない平和なまちを目指す」、「夢のある明日がいちばん誰もが夢を持ち、自分らしく暮らせるまちづくり」の5つのビジョンを掲げ、活力と活気に満ちた豊かで住みよい宜野湾市の実現に向け、全身全霊を傾注してまいります。

今後の4年間につきましては、第四次宜野湾市総合計画基本構想で掲げた将来都市像「人がつながる 未来へつなげる ねたてのまち宜野湾」の達成に向け、市議会をはじめ、職員一丸となって全力で努める所存でありますので、今後とも、市民の皆さまの、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

プロフィール

まつがわ まさのり
松川 正則 (69歳)



出身

宜野湾市野高

経歴

1973年に宜野湾市役所に入庁。年金係、市議会事務局局長などを歴任。2012年に副市長となった後、2018年に宜野湾市長に就任。

趣味

スポーツ観戦

好きな食べ物

ゴーヤーチャンプルー ソデイカの刺身

座右の銘

僕の前に道は無い 僕の後には道はできる

